

大学院教育改革推進プログラム「理系の実践型女性科学者育成」

院生企画セミナーⅠ 実施報告書

2010年11月26日

報告者 複合現象科学専攻 D1 藤田奈津子

魅力ある大学院教育イニシアティブ「先端科学技術の芽を生み出す女性研究者育成」プログラムによる 院生企画セミナーⅡ 授業の実施について報告いたします。

記

名称： 「理系の実践型女性科学者育成」院生企画セミナーⅠ

題： ミクロ（原子核）の世界から宇宙を探る

講師： 肥山詠美子 先生

（理化学研究所 仁科加速器研究センター 肥山ストレンジネス核物理研究室
准主任研究員）

日時： 2010年11月12日金曜日 15時～16時30分

場所： 本学G棟 G204

理化学研究所 仁科加速器研究センター 肥山ストレンジネス核物理研究室より、肥山詠美子准主任研究員をお迎えして、「ミクロ（原子核）の世界から宇宙を探る」という題目でご講演を行なって頂きました。講演参加者は約30名あり、学年層は学部生から博士後期課程の学生そして本学の教員まで、幅広い学科層の方々の聴講がありました。



（写真）講演の様子

講演内容は原子核世界の大きな研究目的のひとつである、「星の一生」をミクロ（原子核）の世界から探るに焦点を置かれ、多くの元素がどのような核反応をして形成されるのか、また中性子星はどういう構造をしているのか、超新星爆発のメカニズムはどのようなになっているのかなどの研究を明らかにするために、元素（原子核）を構成する相互作用を理解できるようなものになっていました。この相互作用の研究のためには、量子力学的多体問題を解くことが重要とされており、星の一生と絡めて、原子核物理学の研究の重要性を説明していただきました。

また、何故、肥山先生が物理を選んだのか？どうして、研究者になったのか？研究者の生活とは？などにも触れていただき、研究者になりたい私はもちろんのこと今後社会に出て行く聴講者全員にとって将来について考えさせられるものとなっていました。

最後になりましたが、ご多忙の中、本セミナーでの講演を快く引き受けてくださいました肥山詠美子先生に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。